

令和5年度 決算

わたしたちのお金は
どう使われたの？



一般会計の決算額

歳入 **204億4776万円** 歳出 **193億5447万円**



歳入

財源の柱 ふるさと寄附金



ふるさと寄附金

30億3287万8000円

(前年度比▲8.8%)

問 寄附金が前年度より減少している。対策は？

答 ふるさと寄附金の専任職員2人体制にし、ポータルサイトの管理・監視強化など踏み込んだ対策で寄附額増を目指す。



歳出

未来を担う子どもたちが良い環境で学んでいる



令和6年9月に完成した新校舎

深溝小学校整備事業

2億1678万1000円

35人学級対応のための
3階建て校舎の増築工事

問 増築のため学校プールをなくし、町民プールで水泳授業をすることになったが、メリット、デメリットは？

答 メリットは指導者による専門的な指導を習熟度別に受けられる。デメリットは移動に時間がかかる。

決算審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠し作成され、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正と認められた。財政指標の健全化判断比率等については、健全な数値と認められた。

令和5年度決算は、町税全体で増収となったが、重要な財源となっているふるさと寄附金は減収となった。年々増加する社会保障関係費や公共施設の維持改修費、新規事業に要する経費など増加要因が多く、今後も予算を許さない状況が続くものと思われる。事務事業の必要性・有効性・効率性に視点を置いた的確な予算配分等を含め、適正な公金支出に心掛け、町の発展、より良い行政サービスのため、一層の職務に精励されたい。

監査委員 大浦 裕
黒木 一

令和5年度決算審査意見書

便利で安全な交通網が整備されている



デマンド型乗合サービス
運行事業
(チョイソコこうた)

1510万4000円

コミュニティバス
管理運営事業
(えこたんバス)

2764万8000円

問 地域公共交通会議で交通システムについてどんな話が出ているのか？

答 私案だが、3 駅を中心としたえこたんルートで通勤者を運んだり、チョイソコの学区を広げたり、岡崎・蒲郡・西尾と行き来する連携をしたい。(町長)

お年寄りが笑顔で元気に暮らしている



長嶺北部地区福祉医療
ゾーン開発事業

2億6600万3000円

愛厚藤川の里と介護老人
保健施設を誘致推進

問 介護老人保健施設事業者の公募選定は？

答 1 回目の公募は応募者なし。募集要件の見直しとして、永年無償借地や施設整備の補助金も検討。

町民ファースト目線で事業を

長谷川進議員

令和5年度一般会計歳入歳出が、4 %黒字決算に感謝します。

歳入の町税は大手自動車関連企業の増益と特別措置の縮小等の増収で、先人の歳入の基本である企業誘致、都市基盤整備の成果です。継続が大変重要です。ふるさと納税も財源の柱であり、特産品の魅力を発信してほしい。

歳出では町民ファースト目線で、未来へ活きるインフラ整備に取り組み、安全安心を望む。

賛成

反対

討論

町民生活を守る福祉の増進を

丸山千代子議員

不用額を多く生み出し、9 億8000 万円の黒字となった。16 億円の基金を繰り入れながら取りやめるなど財政運営が定まっていない。資本金10 億円以上の大企業に制限税率課税で自主財源確保を。長嶺北部地区福祉医療ゾーンの優遇策はやめるべきだ。町民生活を守るため、福祉の増進を図るべきだ。

一般会計・特別会計・公営企業会計の決算額と採決結果

会 計 区 分			歳 入	歳 出	採 決
一 般 会 計			204億4776万円	193億5447万円	反対1：賛成14で認定
特 別 会 計	土地取得		3億8506万円	3億4012万円	全員賛成で認定
	国民健康保険		32億2083万円	32億1471万円	反対1：賛成14で認定
	後期高齢者医療		5億5184万円	5億5083万円	反対1：賛成14で認定
	介護保険		23億9806万円	23億9466万円	反対1：賛成14で認定
	農業集落排水事業		3億2949万円	2億8533万円	全員賛成で認定
(公営企業会計 税抜き)	水道事業会計	収益的収支	7億9334万円	6億6637万円	全員賛成で可決及び認定
		資本的収支	7520万円	3億7171万円	
	下水道事業会計	収益的収支	7億 698万円	6億9830万円	全員賛成で認定
		資本的収支	4億7170万円	5億4797万円	